1 教育·保育事業

(単位:人)

	今和2年度の進歩性2							(単位:人)				
区	分		令和2年度の進捗状況						計画内容			
			令和2年度③実	確保数①	差(①一③)	実績数②	差(①一②)	2年度の取組状況と今後の方向性	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	見	1号認定	432	688	256	393	295		427	418	411	401
1号認定・2号認定(教育ニーズあり)	見量 み	2号認定(教育のニーズあり)	161	180	19	183	-3		159	156	153	149
	H	A 合計	593	868	275	576	292	全体としては計画どおり提供体制を確保することができているが、年齢に応じての対応ができていない状況である。	586	574	564	550
 ※1号···幼稚園へ通う(5歳児)。	確	幼稚園	720	685	-35	430	255	公立幼稚園の3歳児については抽選により入園決定を行って いる状況がある。今後はさらなる受入態勢の整備が求められ る。	720	720	720	720
2号(教育ニーズあり)・・・5歳児のう	保 の	市外の幼稚園	96	92	-4	92	0		96	96	96	96
ち、預かりが必要な子ども	内	認定こども園	91	91	0	54			91	91	121	121
	容	B 合計	907	868	-39	576			907	907	937	937
		B-A	314	0		0			321	333	373	387
	見疊	2号認定(教育のニーズなし)	708	885	177	702	183		700	685	674	657
	見量のみ	他市町村の利用	4	3	-1	3			4	4	4	4
 2号(教育ニーズなし)	Í	A 合計	712	888	176	705	183		704	689	678	
	Trler	認定こども園	196	196	0	197		全体としては計画どおり提供体制を確保することができてお	196	196	256	256
※2号(教育ニーズなし)・・・3歳以上の 保育が必要な子ども。認定こども園・保	確 保	保育園	635	677	42	498		り、希望された施設等での受入態勢が確保されている。 今後も安定した提供体制の確保に努めていく。	635	635	567	567
育所へ通う。	の	認可外保育施設	12	12	0	7			12	12	12	12
	内 容	東濃圏域の保育園、認定こども園		3	-1	3			4	4	4	4
		B 合計	847	888	41	705	183		847	847	839	839
		B-A	135	0		0			143	158	161	178
	見量 込の み	3号認定(0歳児) A	60	79	19	60	19	保育の提供体制を確保することができたが、年度末頃には 空定員数が不足気味であった。小規模保育施設での受け入れに依存している状況が続いている。 今後も当該年度以上の利用が見込まれることから、市内の保育施設提供事業者と協力し提供体制の確保に努めていく。	59	58	57	56
3号認定(0歳児)	確保	認定こども園	15	15	0	11	4		15	15	24	24
※3号・・・0~2歳児(未満児)のうち保育 が必要な子ども。認定こども園・保育所・ 地域型保育(小規模保育所など)		保育園	45	51	6	39	12		45	45	45	
	の	小規模保育施設	12	12	0				12	12	12	12
	内 容	事業所内保育施設	1	1	0	2			1	1	1	1
	ή	B 合計	73	79	6		_		73	73	82	
		B-A	13	0		0			14	15	25	26
3号認定(1·2歳児)	見量 込み	3号認定(1·2歳児) A	354	409	19	350	59		343	337	333	326
	確保の内容	認定こども園	81	81	0	68	13	年度途中の受入については、入園可能な施設等が限られる 状況となるが、概ね希望された施設等での受入態勢は確保 されている。 今後も安定した提供体制の確保に努めていく。	81	81	105	105
		保育園	273	291	18				273	273	243	
		小規模保育施設	31	31	0	27			31	31	31	31
		事業所内保育施設	3	3		4			3	3	3	
		東濃圏域の保育園、認定こども園		3		3			2	2	2	
		B 合計	390	409	19				390	390	384	384
	*# ^ '-	B-A	36	0	15-	0			47	53	51	58
3号認定保育利用率		た満児数 カスドナの中で17世	1,138	981	-157			計画時の人口推計よりも3歳未満児の人口が減少し、利用 実績は見込みを上回り、利用率は上昇した。定員については	1,107	1,093	1,070	
		定子どもの実確保数 	463	488	25			計画を下回っているが、利用に応じた提供体制の確保に今	403	463	466	
	保育利	用學	40.7%	49.7%	9.1	/		後も努めていく。	41.8%	42.4%	43.6%	44.4%
予算額								1,850,687				
決算額(千円) 1,626,140												

令和2年度 土岐市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

2 地域子ども・子育て支援事業

∑ ∑	分		令和2年度の進捗状況					計画内容				
<u></u>	カ -	令和2年度②	実績数①	差(①-②)	2年度の取組状況と今後の方向性	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
	A 量の見込み	95	64	-31		93	91	90	88			
時間外保育事業	B 確保の内容	95	64	-31	ニーズに対応した保育の提供を行った。今後も、職員のローテーションや職員配置により延長保育のニーズに対応できるよう努めていく。	93	91	90	88			
利用日及ひ利用時間以外の日及ひ時間にお	В-А	0	0	0		0	0	0	0			
いて、保育所、認定こども園等において保育 を実施する事業です。 (単位:人)	予算額(千円)			5,201								
	決算額(千円)	2,038										
放課後児童健全育成事業【低学年】	A 量の見込み	820	756	-64		824	828	836	840			
※保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊		820	756	-64		824	828	836	840			
び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る 事業です。 (単位:人)	В-А	0	0	0	放課後児童対策として、本市では、保育が必要な児童(小学生)を預かる「放課後児童クラブ」ではなく、各小学校の空き 教室等で、教育委員会の所管による「放課後教室」を実施し	0	0	0	0			
	A 量の見込 <i>み</i>	360	277	-83	門尸を広げて誰でもいつでも利用かでさることを考慮し、「放	365	360	355	348			
	B 確保の内容	360	277	-83	課後児童クラブ」と異なり、定員は設けていない。見込みよりした大幅に事前の登録申請、実際の参加はあったが、断ること	365	360	355	348			
※保護者が労働等により昼間家庭にいない 小学校に就学している児童に対し、授業の終 了後に小学校の余裕教室、児童館等を利用 して適切な遊び及び生活の場を与えて、その 健全な育成を図る事業です。 (単位:人)	В-А	0	0	0	なく参加を受け入れることができた。今後も原則は定員を設けず、継続して事業を実施していく。	0	0	0	0			
	予算額(千円)			83,645								
	決算額(千円)			77,349								
	A 量の見込み	7	0	-7		7	7	7	7			
	B 確保の内容	7	0	-7		7	7	7	7			
重について、児童養護施設等に人所により、	B-A	0	0	0	5つの施設と契約を結び、予算的には21人日分対応できるようにしたが、67年度は利用実績は無かった。今後も同	0	0	0	0			
必要な保護を行う事業(短期入所生活援助事業(ショートステイ事業)及び夜間養護等事業(トワイライトステイ事業))です。(単位:人	予算額(千円)	124			様の体制を確保し、緊急時の受け入れに備える。							
日)	決算額(千円)			0								
	A 量の見込み	19,577	9,839	-9,738		19,057	18,755	18,419	18,118			
	B 確保の内容	19,577	9,839	-9,738	市内3箇所の児童センターで実施しているが、令和2年度は	19,057	18,755	18,419	18,118			
※乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業です。 (単位:人日)	В-А	0	0	0	新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言等の影響により計画内容を大幅に下回る利用実績となった。 手指消毒や室内換気等、コロナ感染症対策をしっかりと実施	0	0	0	0			
	予算額(千円)			9,462	子指月毎や室内疾え等、コロケ恩来症対象をじらからと実施して、引き続き地域の子育て力の充実に努めていく。							
	決算額(千円)			8,302								
一時預かり事業【幼稚園の預かり保育】 ※家庭において保育を受けることが一時的に 困難となった乳幼児について、主として昼間 の時間帯に、認定こども園、幼稚園、保育 所、地域子育て支援拠点その他の場所にお	A 量の見込み	35,617	28,209	-7,408		35,229	34,452	33,925	33,065			
	B 確保の内容	35,617	28,209	-7,408	 預かり保育を希望される方すべての提供体制は確保できている。	35,229	34,452	33,925	33,065			
	В-А	0	0	0	へる。 今後も安定した提供体制の確保に努めていく。 	0	0	0	0			
いて、一時的に預かり、必要な保育を行う事 業です。	予算額(千円)			17,448								
(単位:人日)	決算額(千円)			16,714								

令和2年度 土岐市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

区分				•	令和2年度の進捗状況	計画内容				
<u></u>	分		令和2年度②	実績数①	差(①-②)	2年度の取組状況と今後の方向性	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	A 量	の見込 <i>み</i>	1,732	975	-757		1,692	1,661	1,632	1,600
一時預かり事業【その他の一時預かり】 ※家庭において保育を受けることが一時的に 困難となった乳幼児について、主として昼間	В	一時預かり事業	1,627	958	-669	保育所型として、西部こども園・花園保育園・花園あおぞら保 育園、ひなたぼっこ保育園、余裕活用型として、みやまえ保 育園、ひなたぼっこ保育園で一時預かり事業を実施した。 利用日時によっては各園の定員により受入できない状況があ	1,589	1,560	1,533	1,503
	確保の	ファミリー・サポート・センター(病 児・病後児を除く)	105	17	-88		103	101	99	97
の時間帯に、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所にお	内容	B 合計	1,732	975	-757		1,692	1,661	1,632	1,600
	В-А		0	0	0	るため、提供体制の確保に今後も努めていく。	0	0	0	0
(単位:人日)	予算額(千円)		11,784							
	決算額(千円)		10,273		10,273					
	A 量の見込み		10	0	-10		10	10	10	10
	B 確保の内容		10	0	-10	一 瑞浪市と広域利用の協定を結び、瑞浪市の委託事業者(東 一濃厚生病院)を利用できる体制を確保しているが、2年度は 利用登録は11件あったが、利用実績は無かった。2年度から	10	10	10	10
	В-А		0	0	0		0	0	0	0
等において、看護師等が一時的に保育等を 行う事業です。 (単位:人 日)	予算額(千円)				1,360	は、病児の受け入れも開始しており、引き続き、保護者の仕事と子育ての両立を支援し、保育サービスの充実を図る。				
	決算額(千円)				1,204					
ファミリー・サポート・センター事業(就学児童	A 量	の見込み	27	3	-24		27	26	26	25
	B 確保の内容		27	3	-24	2年度は新型コロナウイルスの影響もあり、緊急事態宣言下の5月は利用がゼロとなるなど、見込みを大きく下回った。 利用会員と提供会員のバランスが悪く、希望があっても地区によってはマッチングができないケースも想定されるため、今	27	26	26	25
※乳幼児や小学生等の児童を有する子育で中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を	В-А		0	0	0		0	0	0	0
援助を受けることを布呈する者と国該援助を 行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業です。	予算額(千円)				2,520	は事業の見直しも視野に提供会員の増加に努めていく。				
(単位:人日)	決算額(千円)		2,466		2,466					
妊婦健康診査事業	A 量	の見込み	4,998	3,458	-1,540		4,872	4,788	4,676	4,592
※妊婦の健康の保持及び増進を図るため	B 確保の内容		4,998	3,458	-1,540	る。他の目治体の動向を踏まえ、事業を拡充するか否かを	4,872	4,788	4,676	4,592
妊婦に対する健康診査として、①健康状態の 把握、②検査計測、③保健指導を実施する	В-А		0	0	0		0	0	0	0
とともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた 医学的検査を実施する事業です。	予算額(千円)		41,65			検討していく。				
(単位:回)	決算額(千円)		32,		32,104					
	A 量	の見込み	357	282	-75		348	342	334	328
乳児家庭全戸訪問事業	B 確	保の内容	357	282	-75		348	342	334	328
※生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業です。 (単位:人)	В—А		0	0	0	母子保健推進員及び保健師によって、原則すべての乳児の家庭を訪問する体制を整えている。次年度以降も継続して	0	0	0	0
	予算額(千円)				514	-実施していく。				
	決算額(千円)		271							
	A 量	 の見込み	21	17	-4		21	21	21	21
実費徴収に係る補足給付を行う事業 ※保護者の世帯所得の状況等を勘案して、	B 確	 保の内容	21	17	-4	 幼児教育・保育の無償化に伴う子育てのための施設等利用	21	21	21	21
	B-A 予算額(千円) 決算額(千円)		0	0		給付の実施にあたり、子ども・子育て支援新制度未移行幼稚 園を利用する低所得世帯および第3子以降の施設利用認	0	0	0	0
教育·保育に必要な実費徴収に係る 費用を助成する事業です。 (単位:人)			1		1,161	一定こどもに対し、施設等が徴収する副食材料費の助成を実施していく。				
					548					